

☆ R6 春季東京都高等学校野球大会 1次予選 結果 ☆

3月16日(土) 1次予選 5－2 **勝利** vs 府中東高校
@明大中野高校グラウンド

3月20日(水) 1次予選 2－3 **敗退** vs 国立高校
@明大中野高校グラウンド

☆ R5 秋季東京都高等学校野球大会 1次予選 結果 ☆

9月16日(土) 1次予選 0－3 **敗退** vs 昭和高校
@東大和高校グラウンド

☆ 第105回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 結果 ☆

7月10日(月) 2回戦 3－0 **勝利** vs 正則学園高校 @江戸川区球場

7月10日(月) 第105回全国高等学校野球選手権記念大会 東東京大会 試合終了																		
球場 江戸川区			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
プレイボール 13:25		正則学園	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0
ゲームセット 15:25		葛飾野	0	1	1	1	0	0	0	0	X							3
先攻	正則学園		後攻	葛飾野		備考 【二回戦】												
投手	大塚		投手	明石														
捕手	武藤 吉田		捕手	岡田														
本塁打			本塁打	高玉														
三塁打			三塁打															
二塁打	宮島2 米山 箕田 杉原		二塁打	古屋														

試合経過

7月10日(月)、とうとう迎えた夏の初戦は正則学園との対戦となりました。先発ピッチャーはお互い背番号1。葛飾野は2回裏にチャンスから8番の岡田がライト前タイムリーを放ち先制すると、3回裏には4番の高玉が変化球を捕らえてレフトスタンドに叩き込むホームランを放って2-0としました。エース明石は積極的に、そしてしぶとく振ってくる正則学園打線に9本のヒットを打たれるも要所を抑えて完封しました。守備陣も無失策で盛り立てました。



7月10日(月) 3回戦 1 - 3 **敗退** vs 小山台高校 @大田スタジアム

7月17日(月) 第105回全国高等学校野球選手権記念大会 東東京大会 試合終了

球場 大田スタジアム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
プレイボール 12:18	小山台	0	1	1	0	0	1	0	0	0							3
ゲームセット 14:26	葛飾野	0	0	0	0	0	0	0	1	0							1

先攻	小山台	後攻	葛飾野	備考
投手	武藤	投手	明石	【三回戦】
捕手	常盤	捕手	岡田	
本塁打		本塁打		
三塁打	松村	三塁打		
二塁打	加藤 八柳	二塁打	明石	

試合経過

7月17日(月)、3回戦は小山台高校との対戦でした。小山台は2018年・2019年の東東京大会で決勝戦まで進み、二松学舎、関東一と甲子園をかけての戦いを挑みましたが、あと一步のところまで甲子園を逃し、2年連続準優勝した都立の強豪校です。また、2014年には都立高校初の選抜大会(21世紀枠で選出)にも出場しています。その小山台との試合は、お互いのスタンドが超満員で、応援の迫力も凄まじいものとなりました。

1回は奪三振2つと上々の立ち上がりを見せた葛飾野の先発ピッチャー明石でしたが、2回表、3回表とタイムリーヒットを浴びて0-2となりました。葛飾野も何度かチャンスを作りますが、小山台のエース武藤君の前に要所を抑えられました。どちらが先に次の1点を取るのかが勝敗を分ける1つのポイントでしたが、6回表に2アウト2塁からセンターへタイムリーヒットを打たれて0-3となりました。それでも8回表のピンチを切り抜けるとその裏にチャンスを掴んで1点をもぎ取り、スコアは1-3に。9回表も大きなピンチとなりましたが、内野の固い守備でホームを死守し、9回裏の最後の攻撃へ。8・9回のピンチを三振で終わらせたことで逆転への期待が膨らみました。しかし、4番高玉のライト前ヒットでランナーは出したものの5番島田が打ち取られて試合終了となりました。

この試合、お互い失策は0(葛飾野は2試合連続無失策)で締まった試合になった一方、打撃力の差がそのままスコアに表れました。

これまでと同じく、ピッチャーを中心とした守備力を向上させることはもちろん、大会で通用する打撃力、とりわけ走塁も含めた攻撃力のさらなる向上が必要だと痛感させられました。

とはいえ、3年生は1年前の新チーム結成以降、キャプテン倉持がチームを引っ張り、その闘志に影響を受けてさまざまな面で意識を高くもち、本気で「都立初の甲子園1勝」に向けて、それに見合う行動、練習、生活をしようと努力してきました。最後まで、目標達成を全員で信じて闘ってきました。この積み重ねがあって人間的にも技術的にも大きく成長しました。感動も与えてくれました。大会の結果は目標に大きく届かないものでしたが、3年生が、倉持が積み上げてきたこと、見せてくれたこと、人として大きく成長したことは後輩たちが必ず影響を受け、引き継いで、さらなる葛飾野の伝統をつないでくれると信じます。

この大会の前から準備をしていただいたチア(ダンス部の有志のみなさん)、吹奏楽部、一緒に演奏していただいた先生方、酷暑の中、本当に応援ありがとうございました。また、保護者の方々はもちろんのこと、応援をいただいた校長先生はじめ先生方、在校生のみなさん、OBの方々、卒業生の皆さま、地域の皆さま、応援ありがとうございました。



☆ R5 春季東京都高等学校野球大会 本大会 結果 ☆

4月2日(日) 1回戦 8-2 **勝利** vs 豊島学院高校 @府中市民球場

4月2日(日) 2023(令和5年) 春季東京都高等学校野球大会 (兼関東地区高等学校野球大会出場校決定戦) 試合終了																		
球場 府中市民			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
プレイボール 12:15		葛飾野	0	1	0	5	0	0	2	0	0							8
ゲームセット 13:55		豊島学院	0	0	0	0	0	2	0	0	0							2
先攻	葛飾野		後攻	豊島学院								備考 【一回戦】						
投手	明石		投手	井上														
捕手	岡田		捕手	鈴木														
本塁打			本塁打															
三塁打	島田(倅) 明石 倉持		三塁打	井上														
二塁打	明石		二塁打															

試合経過

4月2日(日)、春季大会1回戦、豊島学院高校と戦いました。2回に先制した後、4回には5本の長短打を集め、一挙5点を取ることができました。6回裏には長打を浴びて2失点しましたが、すぐに7回表に取り返し、8-2で勝利しました。

昨秋、一次予選の初戦で敗退してから、11月までの練習試合ではさまざまな経験をし、冬の練習も目標に見合った行動、取り組みをしようと、日々精進してきました。違うチームと思うくらい大きな成長が見られます。

次の2回戦は、昨年の秋季大会で関東一高や早稲田実業を破ってベスト8まで勝ち上がった、強豪の世田谷学園です。自分たちの力がどのくらい通用するか、チャレンジャーとしてぶつかります！

非常に多くの保護者の方々や先生方、OBの方々が応援に駆けつけてくれました。非常に大きな力になりました。ありがとうございました。

4月1日に選抜大会で優勝した山梨学院高校の皆さま、おめでとうございます！

実は昨年(2022)の11月に山梨学院高校と練習試合をさせていただきました。結果は1-18の惨敗でした。甲子園での打力を目の当たりにしました。でも、学べたのは技術だけでなく、ベンチワークや行動など、甲子園常連校の意識の高さを肌で感じさせていただきました。全国1位にふさわしいチームだと改めて実感しています。

私たちも少しでも近づけるよう、日々の取り組みをさらに変えていきます。

4月5日(水) 2回戦 3-4(9回サヨナラ) **敗退** vs 世田谷学園 @都営駒沢球場

4月5日(水)		2023(令和5年) 春季東京都高等学校野球大会 (兼関東地区高等学校野球大会出場校決定戦)															試合終了		
球場 都営駒沢			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	
プレイボール 12:17		葛飾野	2	0	0	0	0	0	1	0	0							3	
ゲームセット 14:01		世田谷学園	0	0	1	0	0	0	0	1	2x							4	
先攻	葛飾野		後攻	世田谷学園								備考 【二回戦】							
投手	明石		投手	二見															
捕手	岡田		捕手	横倉 渡辺															
本塁打			本塁打																
三塁打	倉持		三塁打	三村 野原															
二塁打	本田		二塁打																

試合経過

4月5日(水)、ベスト32をかけて、昨秋の東京都ベスト8の世田谷学園高校と戦いました。初回、3連打で幸先良く2点を先制しました。3回には3ベースを2本浴びて2-1となりましたが、葛飾野はノーエラー、世田谷学園もセンターのストライクバックホームなど堅守で追加点を許さず、一進一退の攻防で終盤に入りました。7回、2アウトからの2連打で3-1と突き放しましたが、世田谷学園もしぶとく8回に1失点して3-2で9回裏に入りました。あとアウト3つで勝利のところでしたが、先頭打者にヒットを打たれた後、バント処理のミスが2つ続いてしまい、0アウト満塁。次のバッターを空振り三振としましたが、落ちる変化球がホームベースの角に当たる不運でボールがバックネットに転がる間に1点を失い同点。なおも1アウト2・3塁。この一打サヨナラの状況で右中間に打たれて逆転サヨナラ負けを喫しました。強豪校相手に終始葛飾野の流れで試合を進められましたが、最終回に攻めの守備ができませんでした。

この春季大会はベスト8を目標にしていたので、目標が達成できなかったことと負け方の悔しさから、試合後はぼう然となりました。この悔しさ・経験を3年生最後の夏の大会に最大限に活かして7月まで突っ走ります。

保護者の方々をはじめ、先生方、OBの方々など球場に足を運んでいただき、たくさんの応援をいただきました。本当にありがとうございました！

☆ R5 春季東京都高等学校野球大会 1次予選 結果 ☆

3月11日(土) 1次予選 8－1(8回コールド) **勝利** vs 西高校
@早稲田実業高校グラウンド

3月11日(土)		2023(令和5年) 春季東京都高等学校野球大会 一次予選										試合終了											
会場校 早実			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計					
プレイボール 11:45		葛飾野	0	0	0	2	1	0	0	5								8					
ゲームセット 13:35		西	1	0	0	0	0	0	0	0								1					
先攻	葛飾野	後攻	西										備考 【一回戦】8回コールド										
投手	情報はありません	投手	情報はありません																				
捕手		捕手																					
本塁打		本塁打																					
三塁打		三塁打																					
二塁打		二塁打																					

試合経過

2023年3月11日(土)、一次予選の初戦が行われ、都立西高校に上記のスコアで勝利することができました。初回にワイルドピッチから先制を許し、西高校の好投手を打ちあぐねて重苦しい空気でしたが、中盤にタイムリーヒットなどで逆転し、終盤にさらに打線がつながりました。

3月21日(火) 1次予選 13－3(5回コールド) **勝利** vs 帝京八王子高校
@早稲田実業高校グラウンド

3月21日(火)		2023(令和5年) 春季東京都高等学校野球大会 一次予選										試合終了												
会場校 早実			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計						
プレイボール 09:55		葛飾野	3	2	5	1	2											13						
ゲームセット 11:17		帝京八王子	0	2	1	0	0											3						
先攻	葛飾野	後攻	帝京八王子										備考 【代表決定戦】5回コールド											
投手	情報はありません	投手	情報はありません																					
捕手		捕手																						
本塁打		本塁打																						
三塁打		三塁打																						
二塁打		二塁打																						

試合経過

3月18日(土)の予定だった一次予選決定戦は雨のために21日(火)に順延となりました。初回到相手の守備の乱れから先制すると打線がつながり小刻みに得点を重ねることができました。まだまだ走塁、守備に課題がありますが、4月から始まる東京都大会へ向けてレベルアップを重ねていきます。

☆ R4 秋季東京都高等学校野球大会 1次予選 結果 ☆

9月4日(日) 1次予選 2－4 **敗退** vs 聖パウロ学園

@国士舘高校グラウンド

9月4日(日)		2022(令和4年)年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選										試合終了												
会場校 国士舘			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計						
プレイボール 12:16		葛飾野	0	0	0	1	0	0	0	1	0							2						
ゲームセット 14:24		聖パウロ学園	0	0	3	0	1	0	0	0	X							4						
先攻	葛飾野	後攻	聖パウロ学園										備考 【一回戦】											
投手	情報はありません	投手	情報はありません																					
捕手		捕手																						
本塁打		本塁打																						
三塁打		三塁打																						
二塁打		二塁打																						

試合経過

9月4日(日)新チーム初の公式戦が行われました。相手校は西東京の強豪・聖パウロ学園。残念ながら力及ばず2－4で敗退しました。エースの力投、内野陣の好守備もあり、チャンスも作りましたが、課題も多く露呈しました。この悔しさをもち続け、課題克服へ秋の練習試合から冬の練習へと挑んでいきます。

更なる「文武生活三刀流」を実行して、人間力の向上、身体力の向上、技術の向上、知識の向上を図り、来春、来夏へ向かって全員で突っ走ります！

☆ 第104回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 結果 ☆

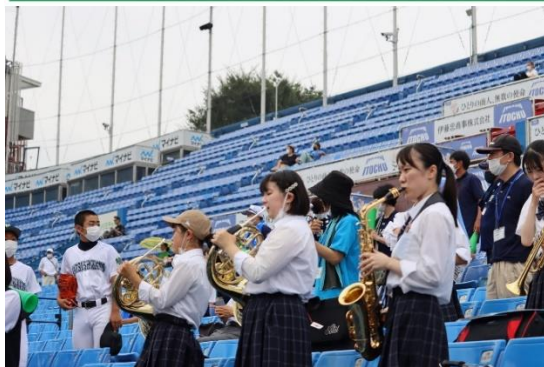
7月12日(火) 2回戦 11-4(7回コールド) **勝利** vs 淑徳巣鴨高校

@神宮球場

7月12日(火) 第104回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 試合終了

球場 神宮		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
プレイボール 09:00	葛飾野	0	0	0	1	0	10	0									11
ゲームセット 11:21	淑徳巣鴨	0	0	1	0	2	1	0									4

先攻	葛飾野	後攻	淑徳巣鴨	備考
投手	北川 高橋 明石	投手	宮西 築比地	【二回戦】7回コールド
捕手	三澤	捕手	中田	
本塁打		本塁打		
三塁打		三塁打		
二塁打	明石 三澤	二塁打	白石	



←今年から吹奏楽部の演奏とチアの応援が可能になりました！以前の夏に戻りつつあります！

試合経過

3回裏、先制点を許すも、すぐさま4回表に四球をきっかけにして得点し同点とする。2・3・5回表もチャンスを作りながらも得点できずにいた5回裏、1アウト2・3塁からセンター前タイムリーを浴びて1-3と引き離される。しかし、直後の6回表、四球を挟んで7連続ヒットを含む9本のヒットで10点を奪って逆転に成功。エース北川から高橋、明石と繋いで淑徳巣鴨打線を4点に抑え、11-4の7回コールド勝ちとした。



7月18日(月) 3回戦 7－2勝利 vs 日比谷高校 @江戸川区球場

7月18日(月)		第104回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会															試合終了			
球場 江戸川区			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計		
プレイボール 08:55		葛飾野	0	0	0	2	1	0	0	3	1							7		
ゲームセット 11:05		日比谷	0	0	0	0	0	0	2	0	0							2		
先攻	葛飾野		後攻	日比谷								備考 【三回戦】								
投手	北川 高橋 明石 筑比地		投手	昼馬 高橋																
捕手	三澤		捕手	矢田貝																
本塁打			本塁打																	
三塁打	門川		三塁打																	
二塁打	久下 小池		二塁打	昼馬																

試合経過

両チームのエースが好投していた4回表、先頭の4番久下の右中間2ベースを足がかりに6番小池のスライズなどで2点を先制する。5回表は2アウトからの四球でチャンスを広げ、小池のタイムリーヒットで3－0とする。7回裏に3番手ピッチャー明石が単打・長打を打たれ、その後の五木田のエラーにより3－2と迫られる。しかし、その直後の8回表に、2アウト1塁から天野がレフト前ヒットでつながぎ、小池の2ベースヒット、門川の3ベースヒットで3得点、最終回には久下のタイムリーヒットで7－2とする。9回裏は今大会初登板の筑比地が三者凡退で抑え、4回戦進出(ベスト 32)を決めた。

日比谷高校のエースピッチャーも好投手で打ちあぐねましたが、後半の集中打で突き放すことができました。

葛飾野エース北川の5回ノーヒットピッチングが光りました。

7月20日(水) 4回戦(ベスト 32) 3－1勝利 vs 修徳高校

@都営駒沢球場

7月20日(水)		第104回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会															試合終了		
球場 都営駒沢			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	
プレイボール 12:39		葛飾野	0	0	0	0	0	2	0	1	0							3	
ゲームセット 14:52		修徳	0	0	0	0	0	0	1	0	0							1	
先攻	葛飾野		後攻	修徳															備考 【四回戦】
投手	北川 高橋 明石 筑比地		投手	林 竹澤 篠崎															
捕手	三澤		捕手	若松															
本塁打			本塁打																
三塁打	久下		三塁打	染田															
二塁打	倉持		二塁打	深澤															

試合経過

同じ葛飾区の決戦となった4回戦。組み合わせが決まった時からこの日に照準を合わせてきた。葛飾野の先発ピッチャーはこれまで通り、背番号「1」の北川。初回、2番の深澤にセンター前ヒットを打たれるも3・4番を打ち取り立ち上がりが無難に乗り切る。2回裏も先頭を死球で出し、送りバントで1アウト2塁のピンチとなったが、7・8番を打ち取る。3回は1アウトか

ら1番・染田のレフトへの大きなフライを門川が転倒し3ベースとしてしまうが、2・3番を打ち取り、ここでも先制点を与えない。4・5回もランナーを出すが続く。攻撃は1回・倉持の2ベース、3回・門川のヒット、5回・小池のヒットでチャンスを作るも、相手投手の林から決定打が出ずに、5回を終了して0-0の緊迫した展開に。

6回、ついに均衡が破れる。葛飾野は先頭の1番・門川のレフト前ヒットから2番・五木田がバントで送り1アウト2塁とする。ここで修徳は2番手ピッチャーに竹澤を起用。3番・倉持がライト前にヒットを放ち1アウト1・3塁とする。ここで4番・久下が初球をライトの頭上に運び3ベース！ここでようやく2点を先制する。

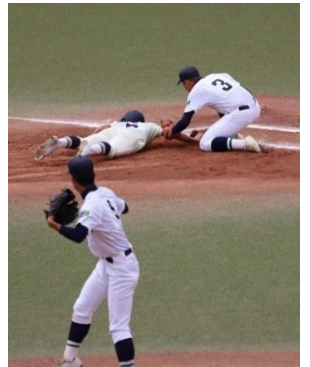
その裏、ヒットでランナーを出すも無失点に抑える。7回表は2アウト3塁のチャンスを作るも無得点。

7回裏もエース北川が無失点のままマウンドへ上がる。1アウトから死球、9番・萩原にライト前ヒットを打たれ1アウト1・2塁となったところで、ピッチャーを北川から高橋にスイッチ。高橋は1番への代打・大井をセンターフライに打ち取り2アウトとしたが、2番・深澤にライトオーバーのエンタイトル2ベースを浴びて2-1の1点差となる。しかし、3番・佐藤をショートゴロに打ち取って2-1で終盤の攻防に入る。

8回表、先頭の2番・五木田のセーフティバントが失策を呼び、その後盗塁と四球を絡めて2アウト1・3塁と攻め立てる。このチャンスに、キャプテンの6番・三澤がライト前タイムリーヒットを放ち、3-1とする。

8回裏からマウンドに上がった3番手の明石が8回を無失点に抑え、3-1のまま9回裏へ。2アウトを取るが、すんなりとは終わらない。1番に死球、2番・深澤にこの日3本目となるヒットを打たれて2アウト1・2塁のピンチに。ここで4番手・筑比地がマウンドへ。3番のホームランバッター佐藤に一発が出ると逆転サヨナラの場面。筑比地は2-2と追い込む。渾身の投球の5球目！高く上がったが、ライト・久下のグラブに収まり、ゲームセット！ベスト16進出を決めた。

出場した選手だけでなく、スタンドの控え部員、マネージャー、保護者の方々、地域の方々、そして、学校の先生方や友人たちも一体となって戦った、団結の勝利であった。





7月22日(金) 5回戦(ベスト16) 2－3(9回サヨナラ) **敗退** vs 文京高校
@大田スタジアム

7月22日(金) 第104回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会																					試合終了	
球場 大田スタジアム				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計			
プレイボール 13:30			葛飾野	0	0	0	0	1	0	1	0	0							2			
ゲームセット 15:40			文京	0	1	0	0	0	0	0	0	2x							3			
先攻		葛飾野				後攻		文京				備考										
投手		北川 高橋 明石 筑比地				投手		峰尾 水野				【五回戦】										
捕手		三澤				捕手		中村														
本塁打						本塁打																
三塁打						三塁打		尾上														
二塁打						二塁打		板倉2 岡崎 水野 尾上														

試合経過

ベスト8をかけて、初戦以来の神宮球場への切符をかけての戦い。文京高校は打線が活発で5点勝負になると予想して臨んだ。葛飾野の先発ピッチャーはこの日も背番号「1」の北川。初回、1アウト2塁のピンチを落ち着いてしのぐ。2回裏、2ベースを打たれ、送りバントで1アウト3塁のピンチ。7番のセカンドゴロの間に1点を失う。その後、毎回のようにピンチを迎えるが、ショート五木田のファインプレー、ダブルプレーなどで何とかしのいでいく。極めつけは5回裏、1アウト1塁から2番・岡崎の打球が左中間へ。この打球をレフトの門川が素早くショート五木田に返球、一気にホームを狙った1塁ランナーに対し、五木田がホームにノーバウンド送球し、間一髪アウト！追加点を許さない。5回表に同点にした直後だっただけに大きなプレーであった。

その5回表は、先頭の7番・小池がサードへ内野安打。8番・古屋の送りバントがエラーを誘い1・3塁。このチャンスに1番・門川がレフトに犠牲フライを放ち同点とした。

7回表、2アウトとなるが、門川が粘りに粘り四球をもぎ取る。盗塁のあと2番・五木田がセーフティバントを決めて2アウト1・3塁。ここで3番・倉持がセンター前タイムリーヒットを放ち、2－1と終盤の逆転に成功する。

6回からマウンドに上がった2番手・高橋が3イニングを無失点に抑えたことが逆転につながった。2－1のまま9回裏へ。あとアウト3つで準々決勝に進める。この最終回からマウンドに上がったのは明石。しかし、先頭に2ベースヒットを打たれ、バントで送られて1アウト3塁のピンチ。ここで1番・尾上にライトオーバーの2ベースタイムリーを打たれて同点に。2番・岡崎に死球を与え、3番・須藤にはセンター前ヒット、1アウト満塁のサヨナラの大ピンチ。ここで4番手・筑比地がマウンドへ。何とか抑えて延長戦への望みを胸にスタンドも固唾をのんで見守ったが、文京高校の勢いは止められず、4番・青山に初球、自信を持って投じたスライダーをライト前に運ばれてサヨナラ負けとなった……。

昨秋、そして、今春ともに一次予選の初戦で国土館高校、雪谷高校にコールド負けの屈辱を味わい、その悔しさを胸に、それを晴らすべく、日々の練習、練習試合、学校生活、勉強、下校後の生活に取り組んできました。

この大会の4試合を通じて、これまで取り組んできた「文武生活三刀流」の積み重ねによる人間的な成長、技術的な成長を遺憾なく発揮し、本気で、強い思いをもって取り組めば結果を出せるということを体感できました。チームが1つになって「団結」して戦うことの重要性和楽しさも体感できました。スタンドでの必死な応援の控え部員、炎天下の中、一生懸命に練習し応援してくれた吹奏楽部の方々、ダンス部のチアの方々、そして、学校の先生方、地域のみなさま。何と言っても保護者の方々の日々の協力はもちろん私たちの大きな大きな力となりました。誠にありがとうございました。

一方で、最後3つのアウトを取る難しさと大変さ、そして、野球の、勝負の怖さも体感しました。両方のこの経験を、1・2年生たちが経験できたことは、これからの葛飾野高校にとっては大きな財産となりました。この財産を最大限に活かすためにも、さらにレベルの高い「文武生活三刀流」を実践していきます。今後の葛飾野高校にご期待ください。

3年生、次は進路、自己実現に向かって、新たな戦いに臨み、目標を達成することを願っています。本当に大きく、成長しましたね。

